

平成30年度入試【3年次編入学】

【人文学】

(法文学部 言語文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(山本七平『「常識」の研究』より、一部改変)

問1 (a)から(f)までのカッコの中には、「共時的」もしくは「通時的」のいずれか一方の語が入る。それぞれのカッコに適切な語を入れなさい。

問2 下線部①について、「虫瞰的」という語が「鳥瞰的」という語からの連想で思いつかれた造語であることを踏まえ、テレビが「元来「鳥瞰的」ではなく「虫瞰的」なもの」だというのはどのようなことか、本文に即して説明しなさい。

問3 下線部②について、「言葉が文化の核ならば、人間全体もそれと同じ」というのがどのようなことか、本文に即して説明しなさい。

問4 下線部③について、筆者の言う「活字の任務」とはどのようなものか、本文に即して説明しなさい。またその上で、その任務を果たすことの困難さについて、あなたの考えを述べなさい。